

# ストレス代謝物に応じて発生する「皮膚ガス」計測で客観的ストレス診断を実現。

## 概要

- 独自の研究により、ストレス状態と相関のある皮膚ガスの物質（ストレスマーカー）を特定。
- 当該ストレスマーカーガスを測定することでストレス感情に直結した客観的なストレス診断の提供が可能に。



## 活用

- ウェアラブルによるストレス診断サービス（特に産後鬱のモニタリング）。
- オフィス、教育現場におけるストレス状態把握など。



## 特徴

- 心拍測定などの方法に比べ、より幅広い体調変化を検知可能、皮膚への密着が不要、等の利点あり。

### 脳内メカニズム (客観的)

